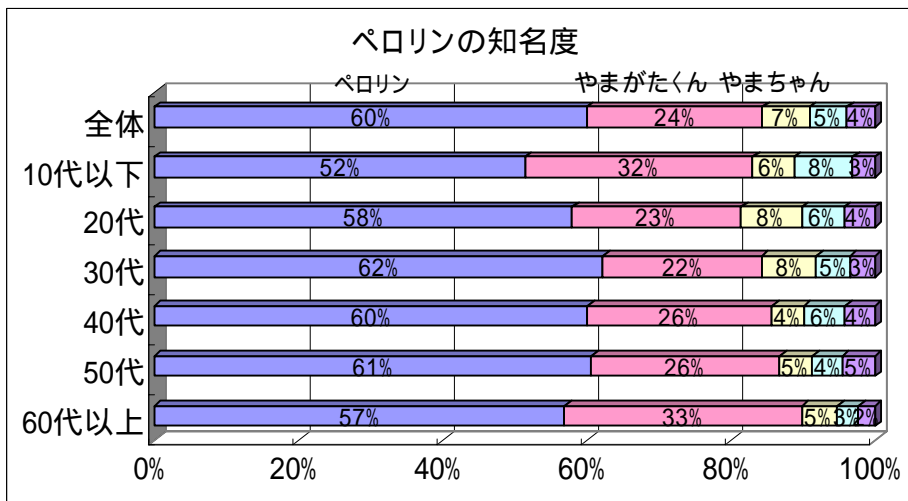


## 山形のおいしいものに関するアンケート 特別編



おいしい山形推進機構東京支部設立 4 周年を記念して、平成 17 年 4 月 15 日～5 月 23 日にかけて「山形のおいしいものに関するアンケート特別編」を実施しました。応募総数は 6,494 件、回答者の 66%が女性で、30 代の回答者が 34%と最も多くしました。

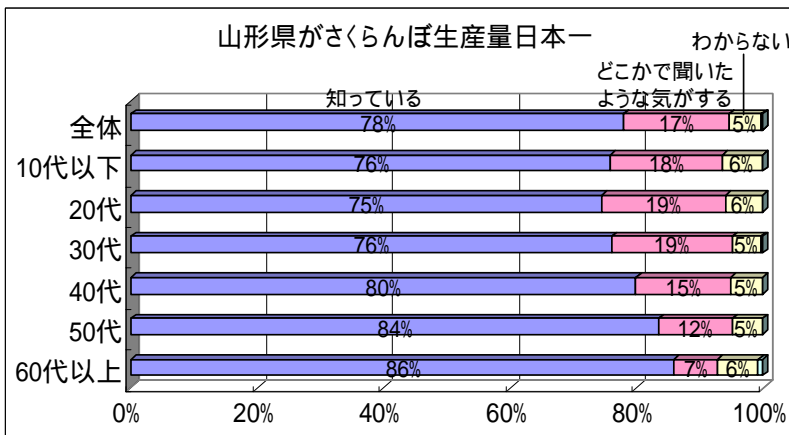
問1 おいしい山形のシンボルマークの名前は次のうちどれだと思いますか。



正解の「ペロリン」と回答した人は全体の 6 割となった。

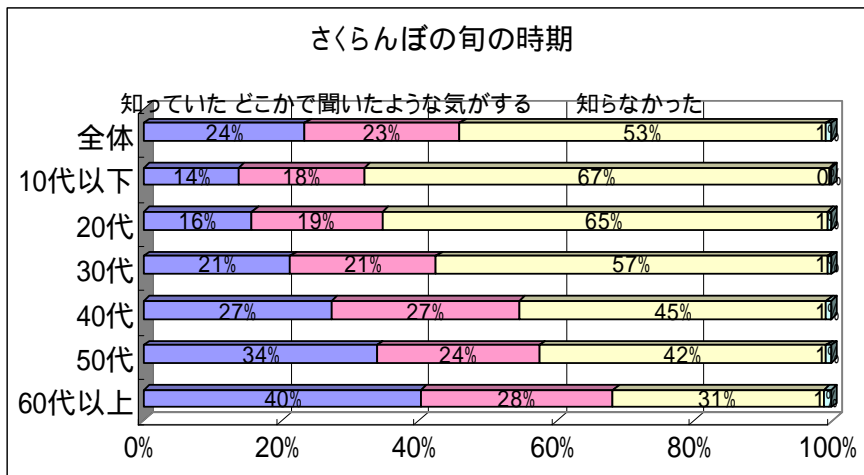
年代別に見ると、10 代以下でやや正解率が低い傾向が見られた

問2 さくらんぼの生産量日本一の産地が山形県であることを知っていましたか。



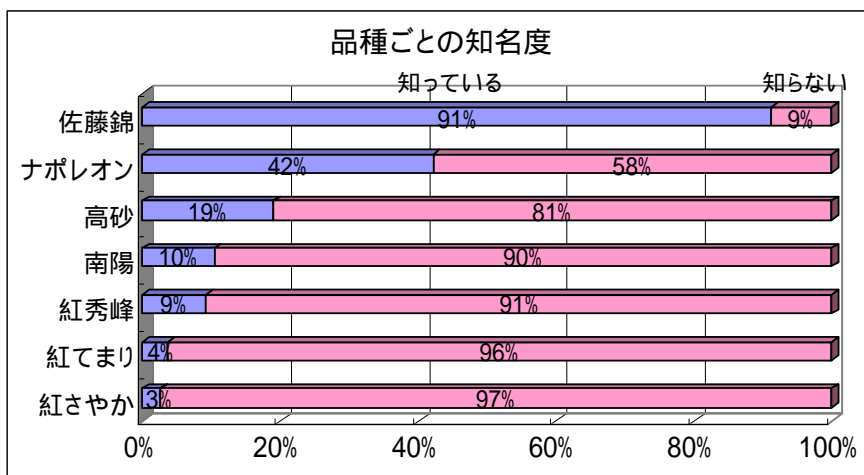
知っているとの回答は、全体の 78%となっている。わからないとの回答は各年代とも 5～6%前後となっているものの、知っているとの回答は年代によって差が見られ、年代が高いほど認知度が高く、年代が低いほど認知度が低くなっている。

問3 山形県産さくらんぼの代表である佐藤錦の「旬の時期」が6月20日ごろだということを知っていましたか。



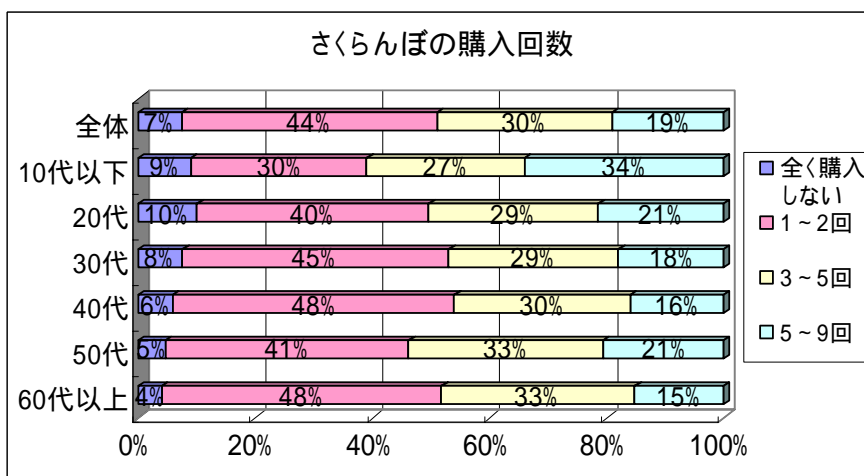
旬の時期に関しては、「知っていた」と「どこかで聞いたような気がする」を合わせて5割弱。60代以上では「知っていた」との回答は40%となっているものの、20代以下では1割台にとどまっている。

問4 次のさくらんぼの品種の中で、知っている品種はどれですか。



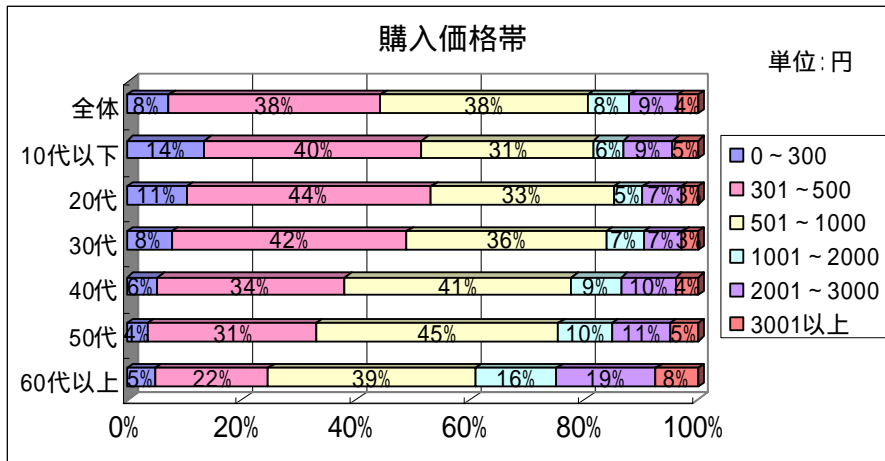
佐藤錦の知名度が91%と圧倒的で、ナポレオンが42%で続いている。期待の晩生品種紅秀峰の知名度はわずか9%にとどまった。

問5 さくらんぼを年に何回ぐらい購入しますか。



全体では「1~2回購入」と回答した人が最も多かったが、10代以下だけを見ると「5~9回購入」と回答した人が34%と最も多くなっている。

問6 さくらんぼの購入単価はいくらぐらいですか



300 円以上 1000 円以下という価格帯が76%で消費の中心。若年層ほど 500 円以下のさくらんぼを購入し、40 代を境に 500 円以上 1000 円以下のさくらんぼに購入価格がシフトしている。贈答用の価格帯では 60 代以上が中心の購買層となっている。